

メルマガ全部協プライムニュース

2016年9月号

<http://zenbukyo.or.jp>

このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

C O N T E N T S

- 1, 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
- 2, 「オートモーティブプライムニュース」とは
- 3, 全部協活動報告
 - 1) 編集委員会
 - 2) 経営組織委員会
- 4, 全部協「夢と希望」～これからの部品商とは～（その15）
- 5, 支部・ブロック協議会活動報告
 - 東北ブロック協議会
- 6, 顧問税理士のコラム
- 7, 統計情報
 - 自動車販売統計
 - 整備工場統計
- 8, 事務局からのお知らせ
 - 1) マツダパーツと会談延期開催予定
 - 2) 訪米計画延期
 - 3) ブロードリーフ社とZEN-ERIC部品データ提供について覚書取り交わし

- 4) 「自動車部品・用品マーケット要覧 2016」の紹介
- 5) WEB 互換品番検索システム年間報賞
- 6) SNS で情報発信
- 9, 全部協会議・活動日程
- 10, メルマガ配信アドレス登録お願い
- 11, 付録
 - 1) 平成 28 年度自動車整備点検推進運動ポスター・チラシ
 - 2) PB 商品の広告
 - 3) 2016 マーケット要覧講読申込書
 - 4) その他の広告リンク
 - ・ショーワグローブ株式会社

「1」 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

- イ、全部協<内部情報専門>の「メールマガジン」です。
- ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を
発信します。
- ハ、<毎月>、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

「2」 「オートモーティブプライムニュース」とは

- イ、部品商の<顧客向けの情報誌>です。
 - ロ、<奇数月発行>のタブロイド版の「紙面情報誌」です。
 - ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、
自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して
参ります。
 - ニ、<希望を募り「無料」で>組合員・賛助会員へ配送します。
 - ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。
- 「」

1) 編集委員会

全部協は第5回編集委員会を平成28年8月19日（金）10時から、全部協会議室（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①第3号（9月号）の紙面割り確認
- ②第3号（9月号）の紙面記事内容について
- ③配送部数確認
- ④広告募集状況
- ⑤メルマガのSNS移行について
- ⑥その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 第3号（9月号）の紙面割り確認

紙面割り案の紹介が資料（リスト）を基になされました。

1面 ①クルマの税金

②法制度の改正（ミラーレス、ナンバープレート）

③人材不足

人材不足については、岩田書店の例を紹介することや、スターボックスの元岩田社長の話なども良いかもしれない。

2面 IoT関連

①NTT ドコモ & DeNA

②DeNA & ヤマト運輸（ロボネコヤマト）

3面 カーシェアリングビジネス

バストラックの自動運転

三井リパークのカレコなどの話題も挙げられる。

月会費1年間無料。初期費用無料などを謳っている。

4面 ①日産セレナ・プリウス PHV 情報

②イベントレポート（オートモービルカウンスル 2016）

オートモービルカウンスルは、日本で初開催。

新素材などの情報掲載。

フラットフォー（FLAT4 Co., Ltd.）※の話題などに発展？

※フラットフォーの事業概要：フォルクスワーゲンの自動車部品
企画開発・製造販売、輸出入、中古自動車販売、インターネット
電子商取引など。

5 面（連載）メカニカルレポート [第 3 回]

I-CAR、修理情報共有、アルミドアなど修理情報など。

BS サミットで視察に行った情報なども加える。

6 面 ①メーカー商品情報（協賛会社の部品紹介、会社情報＋商品）

②全部協関連パーツ部品の連載コーナー。

7 面 ①（連載）健康コラム（コールドプレスジュース）

②I-CAR（修理情報共有）

8 面 ①顧問弁護士のコラム

②（連載）ビジネスマナー

③イベント情報

2. 第 3 号（9 月号）の紙面記事内容について

紙面割りの説明を受け、意見交換しながら概ね原案どおりの内容で
了解されました。

3. 配送部数確認

事務局から第 2 号（7 月号）の配送リストを基に、配送部数の紹介を
行いました。

第 3 号（9 月号）は、組合員 51,490 部、賛助会員 335 部が印刷所から
直送します。

それ以外の関係先（100 部）へは事務局から郵送となります。

4. 広告募集状況

広告掲載継続はビッグウェブ、ブロードリーフ、ニッパンの 3 社。
新たに NGK が全 4 段広告を掲載することが報告されました。

検討中として、撥水道場、SPK があります。他へも広告掲載を
鋭意お願いしています。

5. メルマガの SNS 移行について

事務局から全部協の情報専門部会で FaceBook を立ち上げる計画が伝えら
れました。当面メルマガと並行して FaceBook を立ち上げていきます。

また、メルマガに FaceBook をリンクします。徐々に FaceBook の閲覧を
増やして、内容の充実を目指し育てていく予定です。

6. その他

各所からメルマガが冗長であると指摘されていることから、できるだけ
簡潔に仕上げることを心がけて参ります。

2) 経営組織委員会

全部協は第 13 回経営組織委員会を平成 28 年 9 月 7 日（水）11 時 15 分から、
全部協（東京上野）で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- ①「基礎統計・取引実態調査」のスケジュール
- ②純正販社との懇談会申し入れについて
- ③機関誌発行部数と編集委員会の報告
- ④全国 8 ブロック及び各県支部での会議等開催方法について
- ⑤訪米視察訪問計画延期について
- ⑥ZEN-ERiC 商標の組合員利用について
- ⑦全部協財政基盤充実策について
- ⑧PM. NS へ ZEN-ERiC 商品マスター提供覚書取り交わし
- ⑨その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームで確認ください。

1. 「基礎統計・取引実態調査」のスケジュール

事務局から「基礎統計・取引実態調査」アンケート実施日程の確認が
なされました。

イ、大まかな今後の日程

- 1) 調査委託会社との打合せ調整 10月末までに終了
- 2) アンケート発送準備 11月初旬
- 3) アンケート配布 11月中旬
- 4) アンケート回収×切り 1月末
- 5) アンケート取り纏め 3月末

なお、当委員会でアンケート項目を確認し、その後追加項目や配列について変更がある場合には、その修正内容をメール等で委員間の確認を行い、10月20日開催の理事会で承認を得ることが確認されました。

2. 純正販社との懇談会申し入れについて

今年度の事業計画に基づき、純正販社との話し合いを行う内容について確認されました。

イ、懇談会を申し入れる予定の純正販社

- 1) マツダパーツ（株）
- 2) スズキ（株）
- 3) 本田技研工業（株）

ロ、懇談会開催申し入れ期日

10月上旬から12月上旬までの期間で申し入れる予定です。但し、状況により変更することもあります。

3. 機関誌発行部数と編集委員会の報告

イ、機関誌発行部数

事務局から第3号（9月号）の発送予定部数が紹介されました。

- 1) 組合員向け 51,490部
- 2) 賛助会員向け 377部
- 3) その他官公庁・団体・協力企業向け 17部

合計 51,884部

なお、委託している印刷所から5万部を超える機関誌発行に驚きを持たれていることも報告されました。

ロ、編集委員会の報告

事務局から9月号の編集委員会の報告がありました。

7月19日（火）と9月19日（金）の2回の委員会での議論内容が委員会議事録を基に紹介され、全部協の編集委員の意見が反映された紙面構成になっていることが報告されました。

4. 全国8ブロック及び各県支部での会議等開催方法について

「経営未来ビジョン2016」に掲げている全部協の事業活動に組合員からの理解を得るために、今年度の事業計画として全国8ブロックと各県支部での講演会や実務者教育研修の実施を挙げています。

昨年度の事業計画でも同様の内容が計上されていましたが、予算の執行がありませんでした。当委員会でその反省を踏まえ、具体的な討論を行いました。結論は得られませんでした。

- 1) 組合員から興味を得られるテーマを掲げて開催を要請する
 - 2) 組合員の少ないエリア（ブロック）にも参加員数に係わらず開催をお願いする
 - 3) 実績を上げ経験を積んだ経営者の講演会を併催する
 - 4) 開催するエリアを絞り、予算の配分量を増やして参加組合員の負担を減らす
 - 5) 同じく、参加組合員の負担軽減のために、公的な機関の会場で開催する
- 等々、さまざまな意見が出されました。

5. 訪米視察訪問計画延期について

事務局により、以下の理由から今年度の訪米計画を来年度に延期する提案がなされ、了承されました。

- 1) 訪問先との事前調整に予想外に時間を要する
- 2) ツアー編成に核となる員数の見通しが立たない
- 3) 業界事情に通じた同行者が見つからない

また、来年に延期するについては、以下の事項に了解が得られました。

- イ、予め訪問企業と訪問目的を伝え了承を得る
- ロ、訪問メンバーを事前に決めて置く
- ハ、来年早々に訪問時期とツアー構成（数名のチームにするかどうか）

を決める

ニ、組合員への延期案内を9月早々にメルマガ等で行う

ホ、経営組織委員会を中心にした専門の訪米検討チームを作る

6、ZEN-ERIC 商標の組合員利用について

ZEN-ERIC 商標を組合員に広く利用して頂くためのルールについて確認しました。

イ、全部協の組合員であることを必ず明示する（「組合員」あるいは「会員」などと）

ロ、その例示を数例作りホームページに掲載する

ハ、利用方法を組合員から全部協に報告して頂く

なお、ZEN-ERIC 商標印刷を全部協で請け負う場合は、その手数料を徴収する提案が一部の組合員からなされていましたが、それに関する可否について具体的な意見は出されずに終わっています。

7、全部協財政基盤充実策について

委員会での議論を促すため、事務局から資料を基に、現状の全部協における問題提起とその認識の一致を図る必要性が解説されました。

また、全部協「経営未来ビジョン2016」を展開していくための、推進体制とそれを支援する事務局のあり方について、それぞれ数例を上げて提案がなされました。

この委員会では、それによる結論を得ることはありませんでしたが、議論を継続して行くことが確認されました。

討議の中で、全部協組合員固有の特典として、福利厚生制度を設ける提案も紹介されました。

8、PM.NSへZEN-ERIC商品マスター提供覚書取り交わし

全部協と株式会社ブロードリーフが、全部協の保有するZEN-ERIC部品データ等の提供及び使用許諾について覚書を取り交わす話し合いが事業運営委員会で進められています。

これについて、事務局からその覚書案が示され、当委員会です承が得られました。以後、次回理事会（第29回定例理事会）にて正式に承認をいただくこととなります。並行して商品マスター作成の作業を事業運営委員会で進めていく予定です。

9. その他

イ. 日本アウダテックス株式会社のプレゼン

部品検索システムが一社に集中している状況を改善したいとして、その趣旨から、日本アウダテックスからデータ提供を受ける可能性について、当委員会で説明を受けました。

1) 日本アウダテックスの説明

日本アウダテックスは、自動車メーカー9社からデータ提供を受けている。それは、板金見積ソフト用としてBP工場向けに提供するためのもので、その使用許諾は得ている。

その他に、システムソフトとしてではなくデータのみとして、純正部品の消耗部品に限ってそのデータベースを自動車整備用ソフトメーカーに提供している。また、国交省からアシストして頂くなどで、メーカーから許可を引き出し、緒言データも（自動車整備用ソフトメーカーに？）提供している。ブロードリーフには一部のメーカーのデータの提供を行っている。

これ以外にはデータ提供を行っていない。データを持っているが日本アウダテックスとして検索にデータを使うことの許諾は得ていない。

日本アウダテックスとしても部品検索システムが一社に集中していることの問題意識を持っていて、改善したいという思いがある。今のところその手立てを持っていない。全部協の様な団体がいくつかまとまってその必要性をメーカーに訴えることで、日本アウダテックスとしても動きやすくなる。いろんなところから声を出して頂くのが良い。

整備業者向けのソフトに消耗部品のデータを提供するについても、業者サイドから声が上がってきたことがそのきっかけになっている。

2) 全部協の今後の対応（方向性）

全部協はメーカーの国内部品担当窓口と話し合いできる立場にある。全部協としてメーカーにデータ開示をお願いすることが、より現実的な方向。

トヨタを動かすことができれば、他社も追従すると思われる（アウダテックス談）。

ロ、「自動車部品・用品マーケット要覧」品目別末端市場規模

(株)自動車新聞社発行の「自動車部品・用品マーケット要覧 2016」からデータを追補した 2006 年～2015 年の過去 10 年間の統計データ紹介がなされました。

再度データの精査を行い、メルマガなどに掲載して組合員へ紹介することが確認されました。

ハ、「自動車部品・用品マーケット要覧」組合員へ紹介のこと

(株)自動車新聞社から「自動車部品・用品マーケット要覧 2016」を全部協組合員向けに 3,000 円から 700 円引きでの 2,300 円とした廉価で販売する申し入れを事務局が受けていることが報告されました。

4 | 全部協「夢と希望」～これからの部品商とは～（その 15）

全日本自動車部品卸商共同組合
新戸部八州男理事長

題名「現場力の向上」

添付の PDF データ「01_zenbukyo-yumetokibo-015.pdf」をご覧ください。

5 | 支部・ブロック協議会活動報告

東北ブロック協議会

添付の PDF データ「02_shibu-block-kyogi.pdf」をご覧ください。

6 | 顧問税理士のコラム

《新企画：顧問税理士のコラム その3》

2016年（丙申）の動向 ～国内編～

菊川税務会計事務所

全部協顧問税理士 菊川 慶規氏

添付のPDFデータ「03_comon-zeirishi-column.pdf」をご覧ください。

7 | 統計情報

国交省統計 URL

認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001142663.pdf>

優良認定工場数（速報）

<http://www.mlit.go.jp/common/001143684.pdf>

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2016年08月

<http://www.jada.or.jp/contents/data/hanbai/brand01.html>

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 URL

2016年8月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/index.html>

8 | 事務局からのお知らせ

1、マツダパーツと会談延期開催予定（10月12日）

7月13日に行われたマツダパーツ（株）との会談において、懸案の事項について話し合うことを9月中旬以降に行う事にしていましたが、双方の日程の調整がつかず、10月12日（水）に延期することになりました。

議題として以下を予定しています

- イ、保証金積立などの債務保全に関する事項
- ロ、取引基本契約書取り交わしに関する事項

現在全部協では、マツダパーツ（株）に懇談会開催申し入れを行う準備を進めています。この懇談会までの前に、これらの問題についてとりまとめの方向性を見つけることが今回の会談の主要な目的となります。

2. 訪米計画延期

全部協では、今年の11月に米国のLas Vegasで開催されるSEMAショーに合わせた訪米ツアーを計画していましたが、プライムニュースでもそのことを組合員の皆様にお知らせしておりましたが、以下の主な事情から来年に延期することに致しました。

- イ、訪問先である米国の企業との調整に時間を要している
- ロ、ツアー編成での催行員数の見通しが立たない

については、来年に延期し、全部協の訪米体制を見直し、準備に必要な時間を確保することに致しました。

今後は、訪米計画チームを経営組織委員会の中に設け、以下について確認致します。その作業を、来年の1月末を目途の進める予定です。

- ①訪米の主要メンバー
- ②訪問先との詳しい調整・話し合いのルート
- ③訪問時期と訪米メンバー編成方式

3. ブロードリーフ社とZEN-ERiC部品データ提供について覚書取り交わし

全部協（事業運営委員会）では、部品商の約8割が利用しているといわれる部品検索システム（株式会社ブロードリーフのPM.NS及びパーツマン7）に全部協が保有するZEN-ERiC部品データを提供することに致しました。これにより、全部協組合員はPM.NS及びパーツマン7上でZEN-ERiC部品を検索できるようになります。

データ提供について、ブロードリーフ社と全部協で覚書を取り交わし、並行して、商品マスター作成の作業を事業運営委員会で進め、11月を目途にPM.NS及びパーツマン7にZEN-ERiC部品データをアップデートする

予定です。

今後とも、全部協の共同購買事業で取り扱っている各種商品について、組合員の利用利便性向上を図る為に、データ提供の検討を進めて参ります。

4、「自動車部品・用品マーケット要覧 2016」の紹介

(株)自動車新聞社から「自動車部品・用品マーケット要覧 2016」を全部協組合員向けに 3,000 円から 700 円引きの 2,300 円とした廉価で販売する申し入れを受けています。この要覧は毎年発行されていますが、アフターマーケットの市場規模を商品類別に把握するには好適な資料となっています。全部協でもここに掲載されているデータを基に 10 年間のトレンドを把握し、各種施策立案や活動に利用しています。

組合員の皆様にもお奨めします。購読申し込み用紙付きのチラシをこのメルマガに添付していますので、ご利用ください。

5、WEB 互換品番検索システム年間報賞

事業運営委員会では、四半期毎に「WEB 互換品番検索システム」データ入力協力企業へ報賞を贈っていますが、年間を通しての報賞も検討すべきとする意見があることから、その対応を検討しています。

報賞方法、報賞基準、報賞を贈る時期、などについて、今年度末までに委員会での結論を得る予定です。

全部協の「WEB 互換品番検索システム」は部品商が日々の業務で培ってきた純正部品や優良部品の互換性を紐付けしたデータベースです。今では 300 社を超える組合員(全組合員の 65%)の 600 拠点以上で利用され、部品商業務に欠くことのできないシステムに成長しています。全部協では多くの組合員の利用により更に充実した全部協固有のデータベースに構築することを目指しています。

6、SNS で情報発信

近年では、各国の企業や政府機関などさまざまな分野において SNS の利用が進んでいます。首相官邸などでも Facebook、LINE などの SNS を利用した情報発信を行っています。また、社内でのコミュニケーションの活性化、情報の地域間格差の解消、SOX 法(サーベンス・オクスリー法、企業改革法)対策のために、多くの企業が社内 SNS を導入しています。

これらの時流を背景に、全部協の情報専門部会が中心になり、全部協の広報媒体として FaceBook を立ち上げる計画が進められています。当面は試験的にメルマガと並行して FaceBook を立ち上げていく予定です。メルマガに Face

Book をリンクさせ、組合員のアカウント登録を奨めながら、組合員の中に徐々に FaceBook の閲覧者を増やして、内容の充実を目指して行くこととなります。

9 | 全部協会議・活動日程

全部協会議・活動日程につきましては
添付の PDF データ「04_h28kaigiyotei-nenkan-09.pdf」をご覧ください。

10 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL : http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html

賛助会員 URL : http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせください。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

11 | 付録

- 1) 平成 28 年度自動車整備点検推進運動ポスター・チラシ
添付の PDF データ
「05_h28jst_poster.pdf」 「06_h28jst_chirashi.pdf」
をご覧ください。
- 2) PB 商品の広告
添付の PDF データ 「07_PBpr.pdf」 をご覧ください。
- 3) 2016 マーケット要覧講読申込書
添付の PDF データ 「08_2016my-moushikomi.pdf」 をご覧ください。
- 4) その他の広告リンク
ショウワグローブ株式会社
<http://www.showaglove.co.jp/>

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局（ジェイシーレゾナンス内）
〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F
TEL : 03-5565-1642 FAX : 03-5565-6909
E-mail : primenews@jc-resonance.co.jp

Copyright (C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局